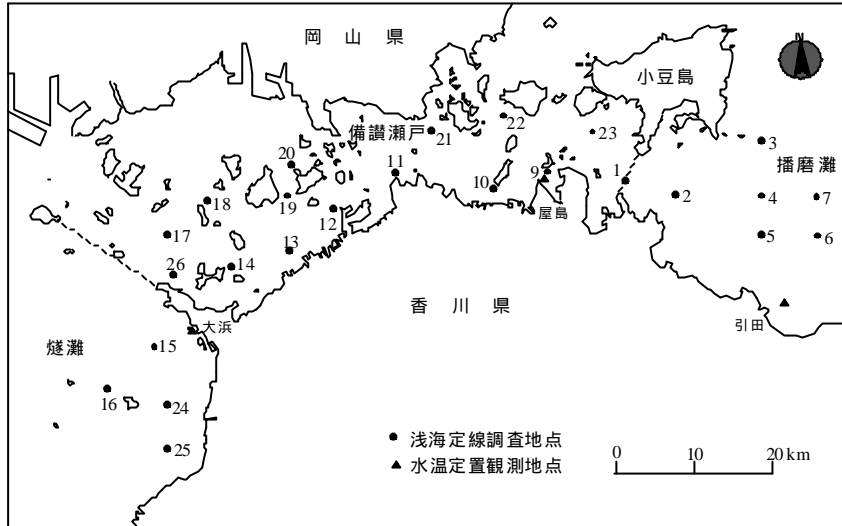


# 香川県漁海況速報 平成16年 3月 (H15-12号)

香川県水産試験場

## 1. 海況

### 1) 観測地点



### 2) 浅海定線調査

#### (1) 調査日

平成16年3月2日(播磨灘)、1日(備讃瀬戸、燧灘)

#### (2) 水質概況

平年と比較すると、水温は「やや高めから著しく高め」、塩分は「平年並みからやや高め」、透明度は「平年並みから著しく高め」、溶存酸素は「かなり低めからやや低め」であった。

		水温 (°C)			塩分 (PSU)			透明度	溶存酸素 (ml/l)	
		表層	10m層	底層	表層	10m層	底層	(m)	表層	底層
播磨灘	7地点平均値	9.4	9.4	9.6	32.9	32.9	33.1	16.2	6.12	6.09
	平年値	8.5	8.5	8.5	32.7	32.8	32.8	9.0	6.64	6.51
	平年偏差	0.9	0.9	1.0	0.2	0.2	0.3	7.2	-0.52	-0.42
	状況	やや高め	やや高め	やや高め	平年並み	平年並み	平年並み	著しく高め	かなり低め	やや低め
備讃瀬戸	14地点平均値	10.5	10.3	10.3	33.2	33.3	33.3	8.7	6.03	6.06
	平年値	8.6	8.5	8.8	32.9	32.9	33.0	5.8	6.40	6.41
	平年偏差	1.8	1.8	1.5	0.3	0.3	0.3	2.9	-0.37	-0.35
	状況	著しく高め	かなり高め	かなり高め	平年並み	やや高め	平年並み	著しく高め	やや低め	やや低め
燧灘	4地点平均値	10.3	10.5	10.6	33.1	33.4	33.5	8.5	6.03	5.86
	平年値	9.4	9.3	9.1	33.0	33.2	33.2	8.0	6.56	6.33
	平年偏差	0.9	1.2	1.5	0.1	0.3	0.2	0.5	-0.53	-0.47
	状況	やや高め	かなり高め	かなり高め	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	かなり低め	やや低め

平年偏差 = 平均値 - 平年値

平年値の算出期間 水温及び塩分：昭和47(1972)～平成13(2001)年度

透明度：昭和58(1983)～平成13(2001)年度

溶存酸素：昭和55(1980)～平成9(1997)年度

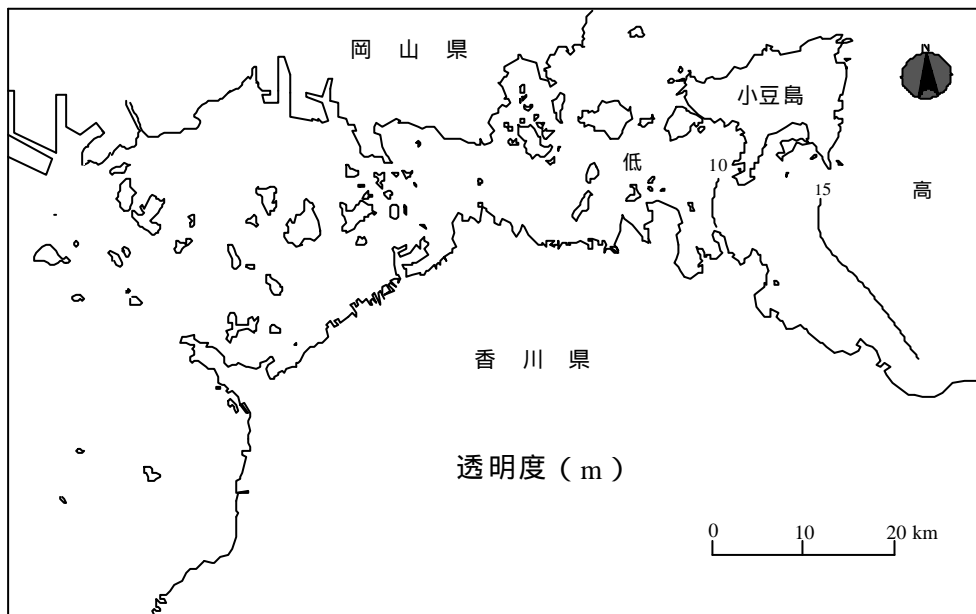
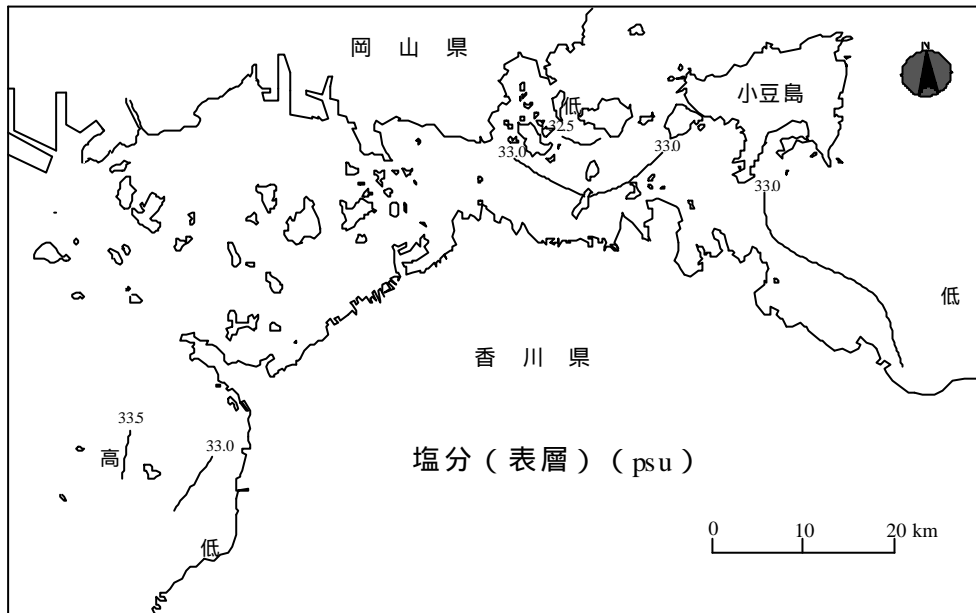
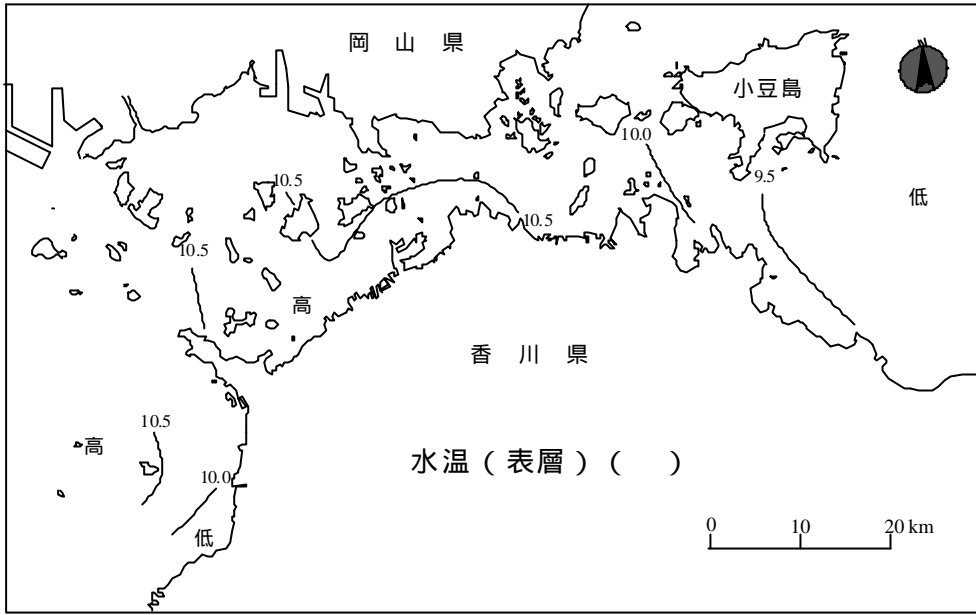
水温は、毎月1日の値に補正。

平年並み 0 平年偏差 < 0.6 ( : 標準偏差)

やや高め(やや低め) 0.6 平年偏差 < 1.3

かなり高め(かなり低め) 1.3 平年偏差 < 2.0

著しく高め(著しく低め) 2.0 平年偏差



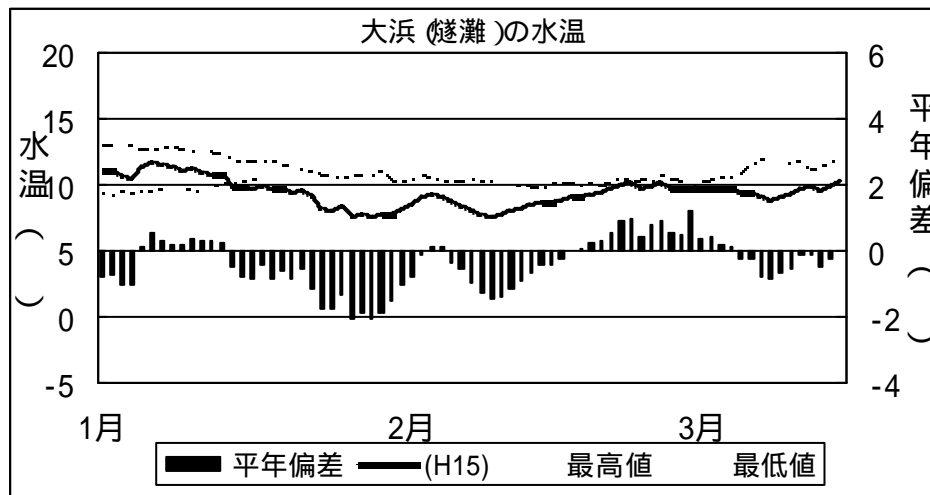
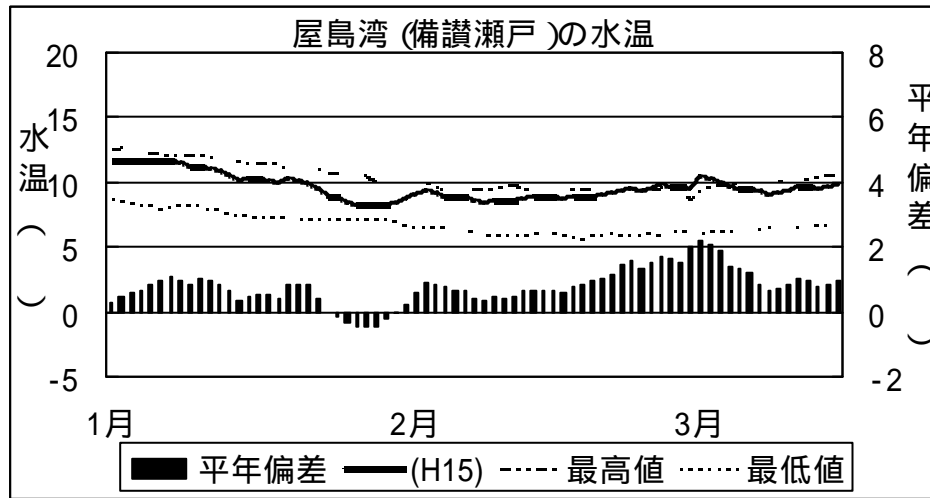
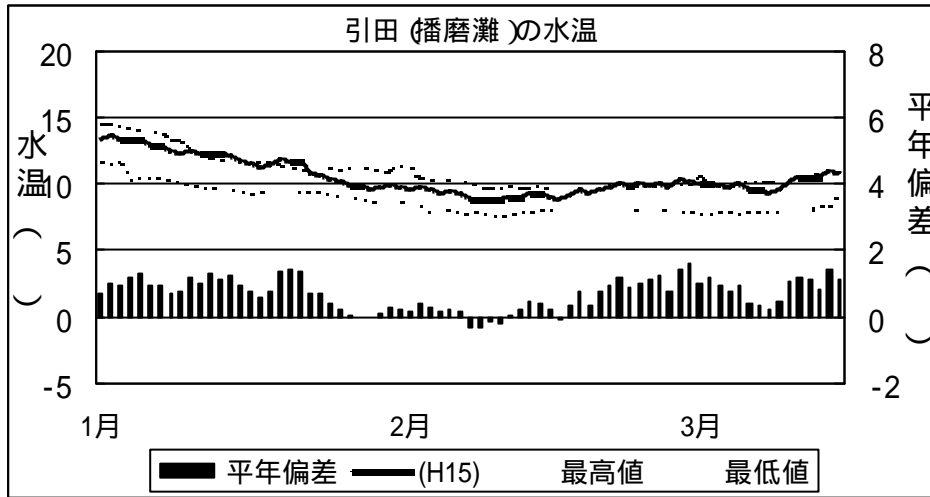
2) 定置観測(水温)

播磨灘(引田): 2月上旬に平年値前後を推移し、中旬から徐々に大きくなり3月上旬に平年偏差が1.6 になったが、一時低下した後再度上昇し1.2 前後で推移している。

備讃瀬戸(屋島): 2月上旬に平年偏差が1 前後で推移し、中旬から徐々に大きくなり3月上旬には一時2 を超えたが、その後小さくなり1 前後で推移している。

燧灘(大浜): 2月に入り徐々に平年値から-1.5 まで低下した後上昇に転じ、下旬には1 前後で推移したが、3月に入り - 1 まで低下した後上昇に転じている。

平年値の算出期間 引田及び大浜: 平成元(1989)~平成14(2002)年  
屋島: 昭和50(1975)~平成14(2002)年



### 3) 赤潮

播磨灘：発生なし。  
備讃瀬戸：発生なし。  
燧灘：発生なし。

### 4) 卵稚仔

調査日：平成16年3月2日（播磨灘）、1日（備讃瀬戸、燧灘）

出現量

個（尾）/ 曳網

	カタクチイワシ		マイワシ		サワラ		その他の魚類	
	卵	稚仔	卵	稚仔	卵	稚仔	卵	稚仔
播磨灘平均	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.50
備讃瀬戸平均	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.13
燧灘平均	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.25
総平均	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.23

対平年値

	カタクチイワシ		マイワシ	
	卵	稚仔	卵	稚仔
播磨灘平均	-	-	-	-
備讃瀬戸平均	-	-	-	0.0%
燧灘平均	-	-	0.0%	0.0%
総平均	-	-	0.0%	0.0%

- 平年値が0の場合を示す。

平年値の算出期間

カタクチイワシ：昭和55（1980）～平成14（2002）年度

マイワシ：平成5（1993）～平成14（2002）年度

カタクチイワシ、マイワシの卵稚仔は、全ての調査地点で採集されなかった。

## 2. 漁況

2月からの漁況は次のとおりである。

海 域	漁 況
播 磨 灘	底びき網では主にウシノシタ類、小型エビ類、アカガイ、トリガイが漁獲されているが、全般的に低調である。 小豆島では釣り、刺網でメバルが漁獲されているが、漁獲量は前年より少ない。
備 讃 瀬 戸	底びき網では主にウシノシタ類、メイタガレイ、イダコが漁獲されている。 中讃・高松沖のタイラギ潜水器漁業の漁獲量はむき身で100～140kg/日・隻と好調な漁獲が続いているが、価格は安値で推移している。 高松沖のイカナゴ込網の2月までの漁獲量は、フルセ主体で前年の約2倍と好漁が続いている。シンコ漁は3月中旬から操業予定である。
燧 灘	底びき網では主ウシノシタ類、スズキ、ネズッポ類、フグ類、シャコ、トリガイ、メイタガレイが漁獲されている。